



中能登町 各種健康診査・がん検診のご案内

中能登町行政サービス庁舎
健康保険課 子育て支援室
☎ 72-3140 FAX 72-3141

今年度、対象となる健康診査・がん検診は次のとおりです。

- 対象年齢は令和7年3月31日時点の年齢です。
- 対象とならない健診については、網消してあります。
- すべての健康診査・がん検診はお申込みが必要です。下の申込書、電話または電子申請でお申込みください。**
- 日時・会場・お申込み方法は同封の「なかのと健診カレンダー」をご覧ください。
- 子宮頸がん・乳がん検診のクーポン対象の方は裏面をご覧ください。



電子申請は
こちらから

がん検診等受診券

*集団健診会場で受けられる方は、この受診券もお持ちください。

がん 検診 等	肺がん・結核 40歳以上 無料 (お申込控)	かく痰検査(肺がん検診) 50歳以上で 喫煙指数600以上 *注1 300円 (お申込控)	大腸がん 40歳以上 300円 (お申込控)	胃がん 40歳以上 集体会場(バリウム) 500円 医療機関(胃内視鏡) 2,500円 (お申込控)	前立腺がん検診 50歳以上の男性 400円 (お申込控)	
	子宮頸がん検診 20歳以上の女性 集体会場 500円 医療機関 1,300円 (お申込控)	乳がん検診 40歳以上の女性 集体会場 400円 *医療機関は無料クーポン券対象者のみ (41歳) (お申込控)	骨粗しょう症検診 20.25.30.35.40.45.50. 55.60.65.70歳の女性 無料 (お申込控)	肝炎ウイルス検診 40~74歳で 過去未検査 無料 (お申込控)	歯科健診 20.30.40.50. 60.70.76歳 無料 (お申込控)	
	*注1 喫煙指数=1日本数×喫煙年数					
	健康 診査	国保若年健康診査 国保19~39歳 無料 (お申込控)	国保特定健診 国保40~74歳 無料 (お申込控)	後期高齢者健診 後期高齢者医療保険 加入の方 無料 (お申込控)	対象の方に別の封書で歯科健診のお知らせが届きます。	
		*注2 社会保険の被扶養者の特定健診を、町の集団健診で受けられる方も、お申込みが必要です。				
		切り取り線をハサミで切って、同封の返信用封筒でお申込みください。				

令和6年度 健康診査・がん検診申込書

太枠をご記入の上、希望の健(検)診日の2週間前までにお申込みください。

種類	対象者	健(検)診お申込み		種類	対象者	健(検)診お申込み	
健康診査	集団 国保・社保扶養・後期	月	日	乳	集団 40歳女性~ 病院 無料クーポン券対象者のみ(41歳)	月	日
肺	集団 40歳以上	月	日			病院で受ける(○を記入) →	
大腸	集団 40歳以上	月	日	前立腺	集団 50歳以上の男性	月	日
胃	集団 バリウム検査: 40歳以上	月	日	肝炎	集団 40~74歳で受診歴のない方	月	日
	病院 胃内視鏡検査: 40歳以上	病院で受ける(○を記入) →				骨粗しょう症	集団 20.25.30.35.40.45.50.55.60.65.70歳の女性
子宮	集団 20歳以上女性	月	日				
		病院で受ける(○を記入) →					

氏名	
電話番号	

返信用封筒に入れた後、封をしっかりと閉じてポストに投函してください。

なかのと健診カレンダー(保存版)

《事前の申込みにご協力ください》**全ての健康診査・がん検診が事前申込み**となります。

《感染予防のためのお願い》
健診を受ける日に、風邪症状がある方、体調の悪い方は、改めてお申込みください。
①自宅での**体温測定** ②**マスク**の着用 ③事前の**問診票の記入**をお願いします。

① 集団健診会場で受診 下記健診会場でを行います。がん検診もあわせて受診できます。

ご加入の健康保険	対象者	健診種類	健診費用
中能登町国民健康保険	19~74歳	国保健康診査 特定健診	無 料
社会保険	被扶養者	19~39歳	被扶養者健診 3,000円
	本人	40~74歳 ※1	特定健診 ご加入の健康保険組合から届く案内をご覧ください。
後期高齢者医療保険	75歳以上	後期高齢者健診	無 料

お勤め先で健診を受けてください。

【申込方法】 各健診日の2週間前までに次のいずれかでお申込みください。

- ① 同封の**健康診査・がん検診申込書**を返送
 - ② **電話**(健康保険課☎72-3140)
 - ③ **電子申請**(こちらから)
- ※定員に達すると〆切となります。



➔ 健診日の約1週間前に「**集団健診予約票**」が届きます

健診日	会 場	受 付 (※1)	健康診査			がん検診等								
			特定健診	被扶養者健診	後期高齢者	肺	大腸	胃(バリウム)	前立腺	肝炎	子宮	乳	骨粗しょう症	
6月18日(火)	かねまる交流館	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6月23日(日)	ラピア鹿島 (女性健診)	午前 託児(※2)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6月27日(木)	ラピア鹿島	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		午後				●					●	●	●	●
7月2日(火)	ラピア鹿島	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		午後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7月5日(金)	ラピア鹿島	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		午後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8月29日(木)	ラピア鹿島	夜間										●	●	●
9月21日(土)	カルチャーセンター飛翔	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9月29日(日)	ラピア鹿島	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10月10日(木)	ラピア鹿島	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		午後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10月14日(月・祝)	カルチャーセンター飛翔	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10月24日(木)	社会福祉センター (中能登町役場総務庁舎横)	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		午後				●					●	●	●	●
11月8日(金)	カルチャーセンター飛翔	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		午後				●					●	●	●	●
11月20日(水)	ラピア鹿島	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		午後				●					●	●	●	●

受付時間は、予約後に指定させていただきます。健診日の約1週間前に届く「**集団健診予約票**」にてご案内します。

※1 受付 午前 8:30~10:30 午後 13:00~14:00 夜間 18:00~19:00
 ※2 託児 6月23日(日)の女性健診は託児があります。託児をご希望の方は、事前に健康保険課(子育て支援室内)(72-3140)までお申込みください。

※1 社会保険の被扶養者(40~74歳)
各健康保険組合から、中能登町の集団健診会場で健康診査が受けられる受診券が発行されています。受診方法や健診費用は、ご加入の健康保険組合にご確認ください。

以下の検診については、加入する健康保険に関わらず、対象年齢であれば、どなたでも受けることができます。

検診種類	対象者 (令和7年3月31日時点の年齢)	検診費用
胃がん検診 (バリウム検査)	40歳以上の方	500円
子宮頸がん検診 (細胞診)	20歳以上の女性	500円
乳がん検診 (マンモグラフィ検査)	40歳以上の女性	400円
肺がん・結核検診 (胸部レントゲン検査)	40歳以上の方	無 料
かく痰検査 (肺がん検診)	50歳以上で喫煙指数600以上の方 (喫煙指数=1日本数×喫煙年数)	300円
大腸がん検診 (便潜血反応検査)	40歳以上の方 健診会場で検査容器をお渡しします。	300円
前立腺がん検診 (血液検査)	50歳以上の男性	400円
肝炎ウイルス検診 (血液検査)	40~74歳の方で、過去に肝炎ウイルス検査を受けていない方	無 料
骨粗しょう症検診	20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の女性	無 料

◎生活保護の適用を受けている方は、全ての健診費用は免除されます。

② 病院で受ける健康診査・がん検診等 → 裏面をご覧ください

集団健診会場案内

かねまる交流館
金丸932番地

ラピア鹿島
井田に部50番地

カルチャーセンター飛翔
能登部下134部1番地

社会福祉センター(中能登町役場総務庁舎横)
未坂9部43番地

感染予防のためのお願い

～健診に行く前に体調を確認しましょう～

健診当日、風邪症状がある方、体調の悪い方は、体調の良い日に受診ください。

- ①自宅での**体温測定**
- ②**マスク**の着用
- ③事前の**問診票の記入** をお願いします。

下記の検診(検査)も集団会場で受診できます

65歳以上の方は年一回結核検診を

結核はまだ存在する病気です

今でも年間1万人の方が発症し、2千人以上の方が命を落としている主要な感染症です。

結核が国民病だった時代に感染した方が、高齢になり免疫力が低下して発症することが多くみられます。近年、結核患者の高齢者の割合が3分の2以上になっています。

結核の感染

結核は特有の症状がなく、早期には目立たないことが多いため、発見が遅れて気づかないうちに進行してしまふことがあります。空気感染で周りの人に拡がります。

結核は早期発見・早期治療が大切

咳や痰が2週間以上続く、微熱や倦怠感(からだのだるさ)が続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。治療期間は約6～9か月。治療を始めれば重症化を防ぎ、1～2か月で周りの人に感染させることはなくなります。

年に1回は胸部レントゲン検査を受けましょう。

中能登町では、**集団健診で胸部レントゲン検査(肺がん・結核検診)**を実施しています。(町の結核検診は、医療機関で実施していません。)同封の「申込書」、電話または電子申請でお申込みください。

風しん抗体検査が無料で受けられます

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で、これまでに「**風しんの抗体検査**」を受けたことがない方は、中能登町から届いたクーポン券を使用して、**無料で**抗体検査を受けることができます。クーポン券を紛失した、転入等でお手元にクーポン券がない方は、発行いたしますので、中能登町健康保険課 ☎72-3140までご連絡ください。※抗体検査は今年度で終了します。

②病院で受診 実施医療機関で受診できます。

★感染状況等に応じて、医療機関により健診の休止期間を設ける場合があります。

【持ち物】 健康保険証・各健康保険から発行される健康診査受診券

◎生活保護の適用を受けている方は、全ての健診費用は免除されます。

ご加入の健康保険		対象者	健診種類	申込み方法	健診費用	実施医療機関	
健康診査	中能登町国民健康保険	19～39歳	医療機関では受けることができません。集団健診会場(裏面)で受診してください。				
		40～74歳	特定健診	医療機関にお問合せ	無料	同封の『中能登町国保特定健診のご案内』をご覧ください。	
	社会保険	被扶養者	40～74歳	特定健診	ご加入の健康保険組合から届く案内をご覧ください。		
		本人	お勤め先で健診を受けてください。				
後期高齢者医療保険	75歳以上	後期高齢者健診	医療機関にお問合せ	無料	同封の『後期高齢者健診のご案内』をご覧ください。		
人間ドック	中能登町国民健康保険	30～74歳 (令和7年3月31日現在の年齢)	人間ドック (特定健診、がん検診など)	健康保険課へお申込み (行政サービス庁舎) (子育て支援室内)	詳細については、同封の『中能登町国保特定健診のご案内』または広報4月号をご覧ください。 ※町の健康診査・がん検診と重複して受けられません。		

以下の検診については、加入する健康保険に関わらず、対象年齢であれば、どなたでも受けることができます。

検診種類	対象者 (令和7年3月31日時点の年齢)	申込み方法	検診費用	実施医療機関
胃がん検診 (胃内視鏡検査)	40歳以上の方 《実施期間》 令和6年7月1日～12月28日	1. 申込み (注)予約ではありません 次の①②③から選んでください。 ①同封の 健康診査・がん検診申込書 を返送 ② 電話 (健康保険課 ☎72-3140) ③ 電子申請 (こちらから→)  ↓ 2. 町より受診票が封筒で届きます。 ↓ 3. 予約 医療機関へ電話し、検診日を予約してください。	2,500円	・かじ内科クリニック ・おくむら内科胃腸科医院 ・患寿総合病院 ・公立能登総合病院 ・田中内科クリニック ・七尾病院 ・三林内科胃腸科医院 ・浜野クリニック
子宮頸がん検診	20歳以上の女性 《実施期間》 令和6年7月1日～12月28日		1,300円	・桑原母と子クリニック ・患寿総合病院 ・患寿ローレルクリニック ・公立能登総合病院 ・山田産婦人科医院
乳がん検診 (マンモグラフィ検査) ★41歳のみ★	昭和58年4月2日～ 昭和59年4月1日生まれの方 (対象の方に「乳がん検診クーポン券」を同封しています) 《実施期間》 令和6年7月1日～12月28日		無料	・患寿総合病院 ・公立能登総合病院
歯科健診	20・30・40・50 ・60・70・76歳の方 《実施期間》 令和6年6月3日～令和7年2月28日		無料	詳細については、対象の方に別の封書で届く『歯科健診のご案内』をご覧ください。

【申込み・お問合せ先】 中能登町行政サービス庁舎 健康保険課 子育て支援室 ☎72-3140 FAX 72-3141

【受けてください、命を守るがん検診】

～がん検診 あなたの暮らしの 習慣に～

公益財団法人日本対がん協会 2024年度がん征圧スローガン

胃がん検診について（40代以上のみなさまへ）

胃がんは我が国のがん死亡の上位に位置しています。しかし、早く見つけて治療することで、治癒が見込めるがんともいわれています。定期的な検査が早期発見につながります。2年に1回は胃がん検診を受けましょう。

★胃がん検診ってどんな検査？

バリウムによる胃エックス線検査と、胃内視鏡検査（胃カメラ）の2種類から選択できます。専門医が胃の形や粘膜の状態を確認します。

※胃バリウム検診における注意事項

- 前日午後9時以降は、飲食をしないでください。
- 心臓病、高血圧の薬を飲まれている方は少量の水で飲んでも構いません。
- 便秘症の方は直近の排便状況により、検査を受けられないことがあります。

※胃内視鏡検査における注意事項

- 前日午後9時以降は、飲食をしないでください。
- 当日朝に飲む必要がある薬（血圧など）は、事前に病院へ確認をお願いします。
- 検査に支障が出る可能性があるため、当日検査前の喫煙は避けてください。

★検診結果で「要精密検査」となったら……

- 胃エックス線検査：胃内視鏡検査を行います。病変が疑われる組織を採って調べる（生検）こともあります。
- 胃内視鏡検査：生検または胃内視鏡の再検査などがあります。

肺がん検診について（40代以上のみなさまへ）

肺がんは我が国のがん死亡の上位に位置しています。肺がんは急速に進行するがんもあり、定期的な検査が大切になります。1年に1回は肺がん検診を受けましょう。

★肺がん検診（結核検診）ってどんな検査？

胸部エックス線検査、かく痰検査（喫煙指数600以上が対象）があります。

★検診結果で「要精密検査」となったら……

- CT：エックス線を使って病変が疑われた部位の断面図を撮影し、詳しく調べます。
- 気管内視鏡検査：気管支鏡を口または鼻から挿入し、直接観察します。病変が疑われる組織を採って調べる（生検）こともあります。

※かく痰検査で「要精密検査」となった場合は、痰の検査だけをもう1度受けるのではなく、必ず精密検査を受けてください。



～たばこと肺の関係（身近な人のからだを守るために）～

たばこを吸わない人に比べて、たばこを吸う人は日本人男性では約5倍、女性では約4倍肺がんで亡くなるリスクが高くなります。また、たばこを吸う年数・本数が多いほど、肺がんになりやすいといわれています。

たばこは吸っている本人だけでなく、周りの人（受動喫煙者）の肺がんリスクも上げています。

禁煙によってご自身と周りの人の健康な肺を守りませんか？



大腸がん検診について（40代以上のみなさまへ）

大腸がんは我が国のがん死亡の上位に位置しています。大腸がんは進行するまでほぼ自覚症状がないことから、早期発見のために定期的な検査が大切になります。1年に1回は大腸がん検診を受けましょう。

★大腸がん検査（便潜血検査）ってどんな検査？

便に混じった血を検出する検査です。ご自宅で2日分の便を採取し、後日指定場所に提出します。

★検診結果で「要精密検査」となったら……

○全大腸内視鏡検査：下剤で大腸を空にした後に、肛門から内視鏡を挿入し、がんやポリープがないか調べます。病変が疑われる組織を採って調べる（生検）こともあります。

※便潜血検査は毎回陽性になるわけではないため、もう1度便潜血検査をするのは良くありません。

1つでも「陽性(+)」となった場合は、自覚症状がなくても精密検査を受ける必要があります。

子宮頸がん検診について（20～30代の女性の方へ）

子宮頸がんは若年層になりやすいがんで、HPV（ヒトパピローマウイルス）への感染がきっかけで発症します。我が国の女性がんで比較的に多く、近年増加傾向にあります。

20歳を過ぎたら2年に1回は子宮頸がん検診を受けましょう。



★子宮頸がん検診ってどんな検査？

子宮の入口部分の細胞を小さなブラシなどで採取し異形の細胞がないか検査をします。検査時間は5分程度です。

★検診結果で「要精密検査」となったら……

HPV検査・コルポスコープ下の組織診や細胞診などを組み合わせたものを実施します。

○HPV検査：子宮頸がんの原因ウイルス（HPVウイルス）に感染しているかを調べる検査です。

○コルポスコープ検査：子宮頸部や膣部などを拡大し、疑わしい部位の組織を採り、細胞を調べる検査です。

乳がん検診について（40代以上の女性の方へ）

乳がんは女性が発症するがんの中で1番多く、女性がんの死亡の上位に位置しています。年代では40歳代後半から急増し、40～60歳代に最も多くみられています。日頃から乳房の状態に関心を持つことが大切であり、早期発見するためには定期的な検査が重要になります。

★マンモグラフィ検査ってどんな検査？

透明なプラスチックの板で乳房を圧迫してレントゲン撮影をします。人によっては痛みを感じることもあります。生理前の1週間は避けると痛みが少ないようです。



★要精密検査といわれたら……

マンモグラフィ追加検査・超音波検査、疑わしい組織や細胞を採り、顕微鏡で調べる（生検）検査があります。

～知っておいてほしいこと～

- がん検診を受けることで、死亡率減少効果があるといわれています。がん検診は継続して受けることが大切です。また、何らかの症状がある場合は医療機関を受診してください。
- がん検診で要精密検査になった場合は、早期発見の機会を逃さないためにも精密検査は必ず受けましょう。
- がん検診の結果が「要精密検査」であっても必ずがんが存在するわけではありません。また、がん検診で100%発見できるわけではありません。
- 検診の精度を高く維持するため、精検結果の調査や集計などを町や検診機関などが関与して行いますが、個人の情報は完全に保護されます。